

雷神スパーク タイプS VS-S

この度はPIVOT製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。お取り付け、ご使用前には必ず本説明書をよくお読みください。

- お取り付けの際、一部に専門的な知識が必要な場合は専門店での作業をお勧めします。
- 説明書の再発行は有償となりますので、大切に保管してください。

セット内容



下記車種は別途市販のヒューズ電源コードをお求めください。

- ダイハツ車 (一部) = 10Aレギュラータイプ ●三菱・マツダ・ダイハツ車 (一部) = 10Aミニタイプ
- インプレッサ GC/GF8(A~D型) = 15Aレギュラータイプ

※クルマのマイナーチェンジでヒューズのサイズ(ミニまたはレギュラータイプ)、容量が異なる場合があります。

- 警告**
1. 製品取付は説明書の手順に従って、安全、確実に作業してください。
 2. 配線作業は必ずバッテリー⊖端子を外した上で行ってください。
 3. 配線を間違えますとショート等によって製品やクルマ側が故障する場合がありますのでご注意ください。
 4. 本製品は非防水型ですので車内以外の場所(エンジンルーム)には装着しないでください。

- 注意**
1. 配線上効果が得られない、接続が行えない、配線未確認などの一部車種は対応不可となります。
 2. 本機以外の製品を同様に接続、または対応不可のクルマに接続されますとクルマ側の部品を破損させる場合がありますので行わないでください。

効果

イグニッションコイル専用設計だから最大の性能アップ。

- エンジントルク、レスポンス、パワーアップ ●アイドリング安定 ●エンジン音静寂

特長

電源根本で安定。これが、パワーアップのための最適な理想着火。

イグニッションコイルへの電源経路は、コード、ヒューズ、端子など数多くの抵抗とインダクタンス成分により電圧低下やパルスノイズで点火損失が生じ性能を完全に出し切れていませんでした。そこで雷神スパークはイグニッションコイル電源の至近距離を安定させることで点火性能を100%発揮させる新しい発想のイグニッションコイル専用の電圧安定装置です。

ヒューズ交換などの簡単配線

配線は車内の指定ヒューズと入れ替える(一部の車種はキースイッチへ配線)簡単取付です。

新開発ハニカム構造コンデンサー

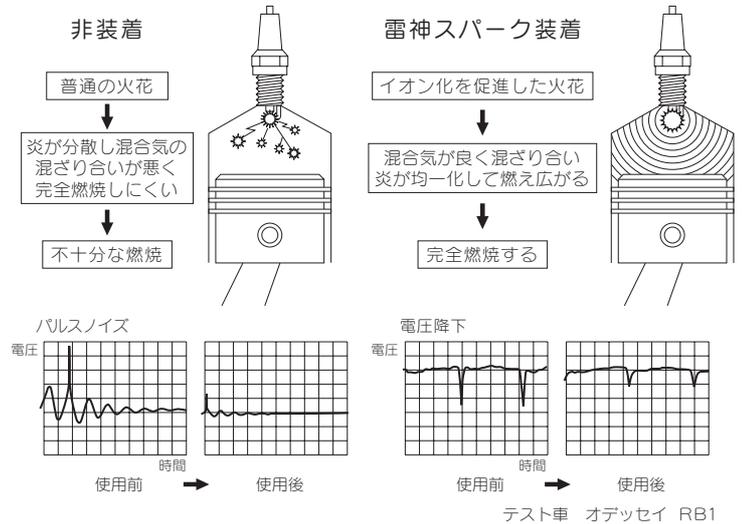
ハニカム構造のコンデンサーと高周波応答性に優れた回路で最適性能を発揮します。

突入電流防止回路

キーON時の大きな突入電流によるクルマ側の部品への影響を防ぐため、ディレー回路の採用で安心してご使用いただけます。

励起イオン化による理想燃焼。

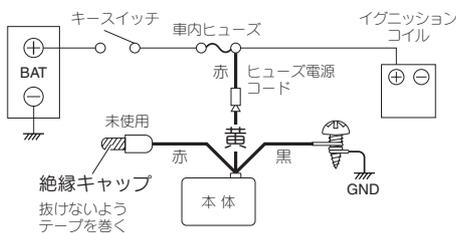
理想的な点火とは、強い火花と混合気の中を火花が線火花のように分散せず均一に燃え広がっていくための励起イオン化を促進する必要があり、そのためには火花波形の立ち上がりを速くさせるため雷神スパークは高周波応答性に優れた回路で電流遮断時のパルスノイズと電圧低下を抑えることでより理想的な点火からの燃焼を実現しました。



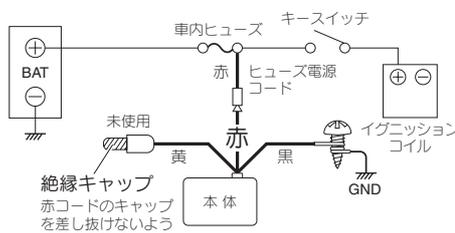
テスト車 オデッセイ RB1

基本配線と原理

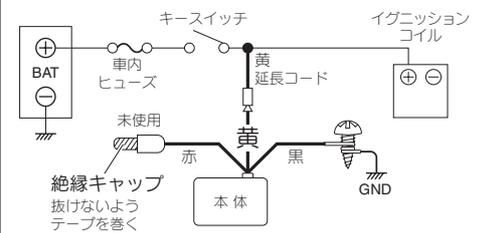
FI 配線方式 ヒューズ対応キーON型



FB 配線方式 ヒューズ対応常時12V型



SI 配線方式 キースイッチ対応キーON型



配線方式（電源側） 赤・黄コードの接続

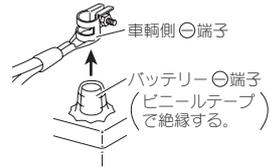
配線は性能上、車種により異なりますので配線方式一覧表に従ってください。

警告 配線作業時は必ずバッテリー ⊖ 端子を外して行ってください。

注意 配線後はショート防止のため、余ったコードやギボシカブラーは絶縁テープなどを巻き、絶縁してください。

取付準備

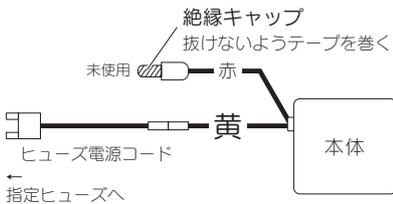
- ① バッテリー ⊖ 端子から車輛側 ⊖ 端子を外す。
- ② バッテリー ⊖ 端子をビニールテープで絶縁する。



FI 配線方式

ヒューズ対応キーON型 (ヒューズ電源にキースイッチONで12Vの場合)

車内ヒューズボックス内の指定のヒューズを抜き、ヒューズ電源コードのヒューズをそこへ差し込み、本体からの黄コードと接続。

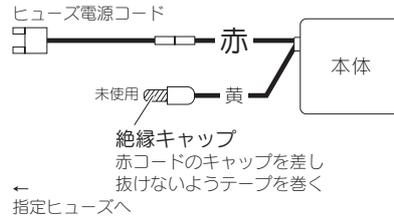


- 注1 キーONまたはスターターON時に本体からカチカチとリレー音がしますが、異常ではありません。
- 注2 LEDはキーOFFでもすぐに消灯しませんが、異常ではありません。

FB 配線方式

ヒューズ対応常時12V型 (ヒューズに常時12Vの場合)

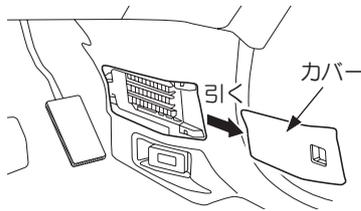
車内ヒューズボックス内の指定のヒューズを抜き、ヒューズ電源コードのヒューズをそこへ差し込み、本体からの赤コードと接続。



注、キーOFFでもLEDが消灯しませんが異常ではありません。また、低電流(0.5mA)設計のため、バッテリー負担はまったくありません。

※エンジンルームのヒューズボックスには配線しないでください。

※ヒューズ名称とは、ヒューズボックス付近(フタ裏等)に記載されている表示です。



ヒューズ説明(カバー裏・クルマの説明書などに記載してあります。)

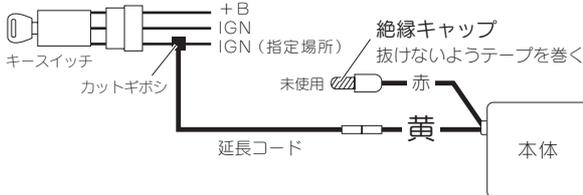
ヒューズ名称	ヒューズ容量
2	15A

※イラストはオデッセイRB1のもので、車種により異なります。

SI 配線方式

キースイッチ対応キーON型 (キースイッチハーネスでキーONで12V)

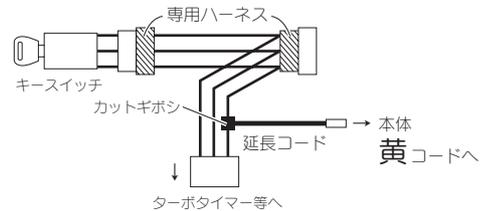
直接キースイッチからのコードに接続する場合
キースイッチからの配線でキーONで12Vのコードへ延長コードを接続し、本体からの黄コードと接続。



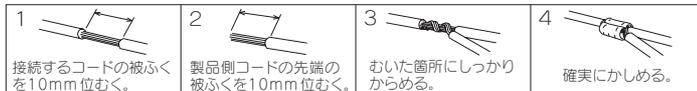
- 注1 キーONまたはスターターON時に本体からカチカチとリレー音がしますが、異常ではありません。
- 注2 LEDはキーOFFでもすぐに消灯しませんが、異常ではありません。

専用ハーネス(エンジンスターター/ターボタイマー)を併用されますと、より配線が簡単に行えます。

専用ハーネスを併用する場合
ターボタイマーやエンジンスターターの専用ハーネスを併用する場合



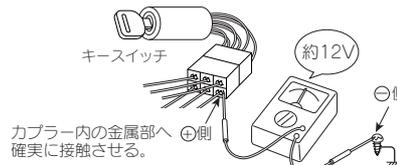
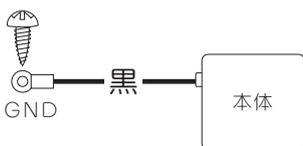
カットギボシの使用方法 ※半田付けができる場合は半田付けを行ってください。



※かしめには圧着工具を使用し、工具がない場合はペンチ等で折たたむようにしっかりとめしてください。
※かしめ後は、ビニールテープ等で確実に絶縁をしてください。

黒コードの接続

本体からの黒コードは装着場所近くのアースの取れるネジへ固定します。



※アースの取れないネジ(プラスチックなどに固定されている等)では通電しませんので鉄板部等のネジに確実に固定してください。

本体取付

警告 本体は運転の邪魔にならない場所で、万一外れた場合も運転に支障をきたさない場所に設置してください。

注意 1. 横面等へ貼り付ける場合には、両面テープの粘着が安定するまで約2時間は振動等を加えないでください。
2. 貼り直しは粘着力が低下するので行わないでください。

- ① 本体ウラ面の汚れや油分を取って付属の両面テープを貼付する。
- ② 本体を取り付ける場所の汚れや油分をしっかり取ってから本体を貼り付ける。

